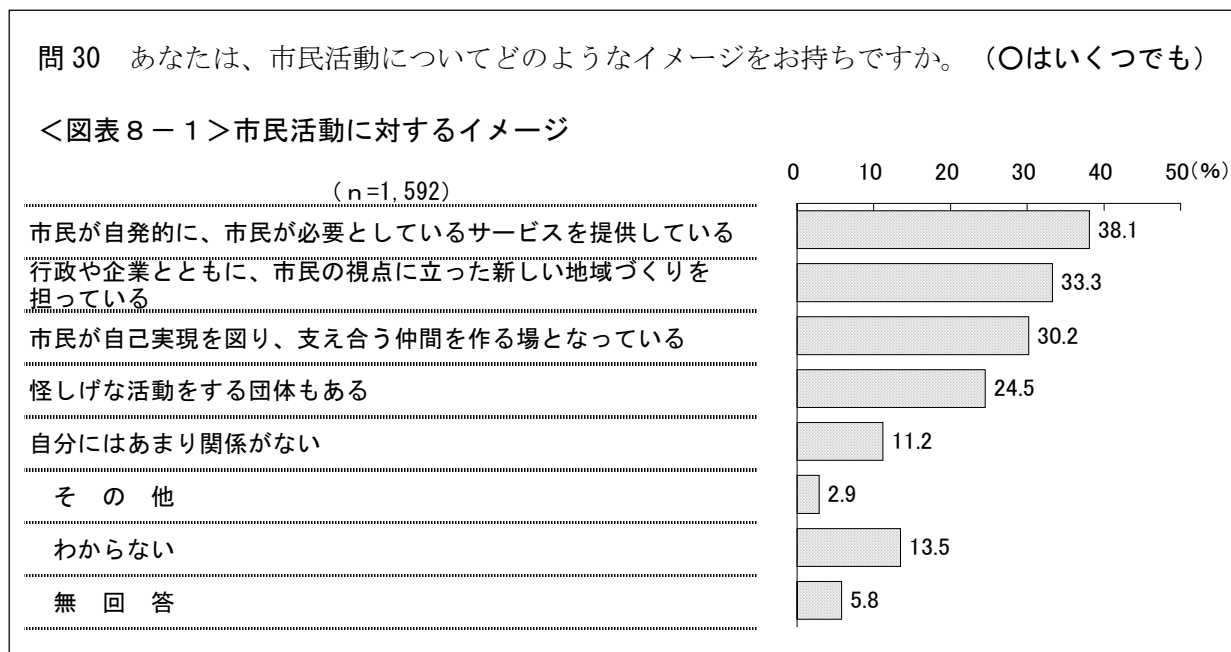


8 市民活動について

(1) 市民活動に対するイメージ

◇「市民が自発的に、市民が必要としているサービスを提供している」が約4割



市民活動についてどのようなイメージを持っているかをいくつでも選んでもらったところ、「市民が自発的に、市民が必要としているサービスを提供している」（38.1%）が約4割で最も高い。次いで「行政や企業とともに、市民の視点に立った新しい地域づくりを担っている」（33.3%）、「市民が自己実現を図り、支え合う仲間を作る場となっている」（30.2%）、「怪しげな活動をする団体もある」（24.5%）が続く。（図表8-1）

【地域別】

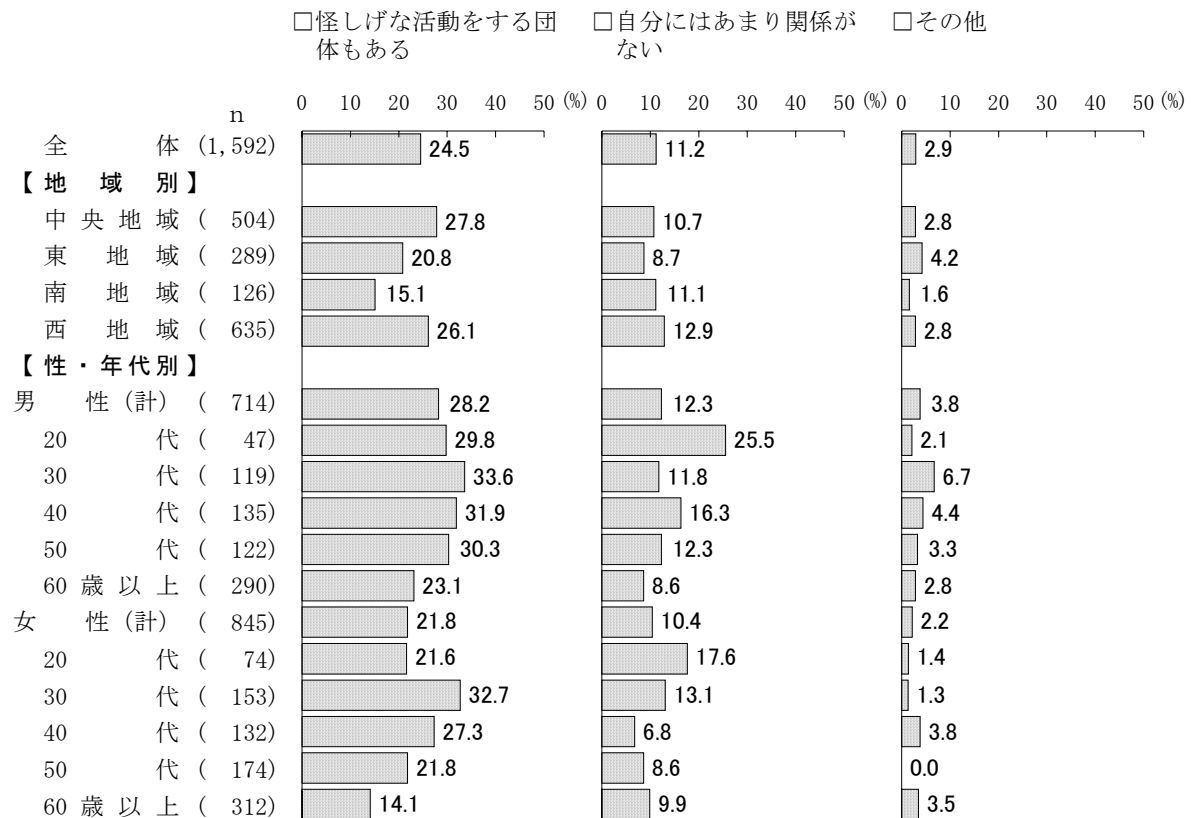
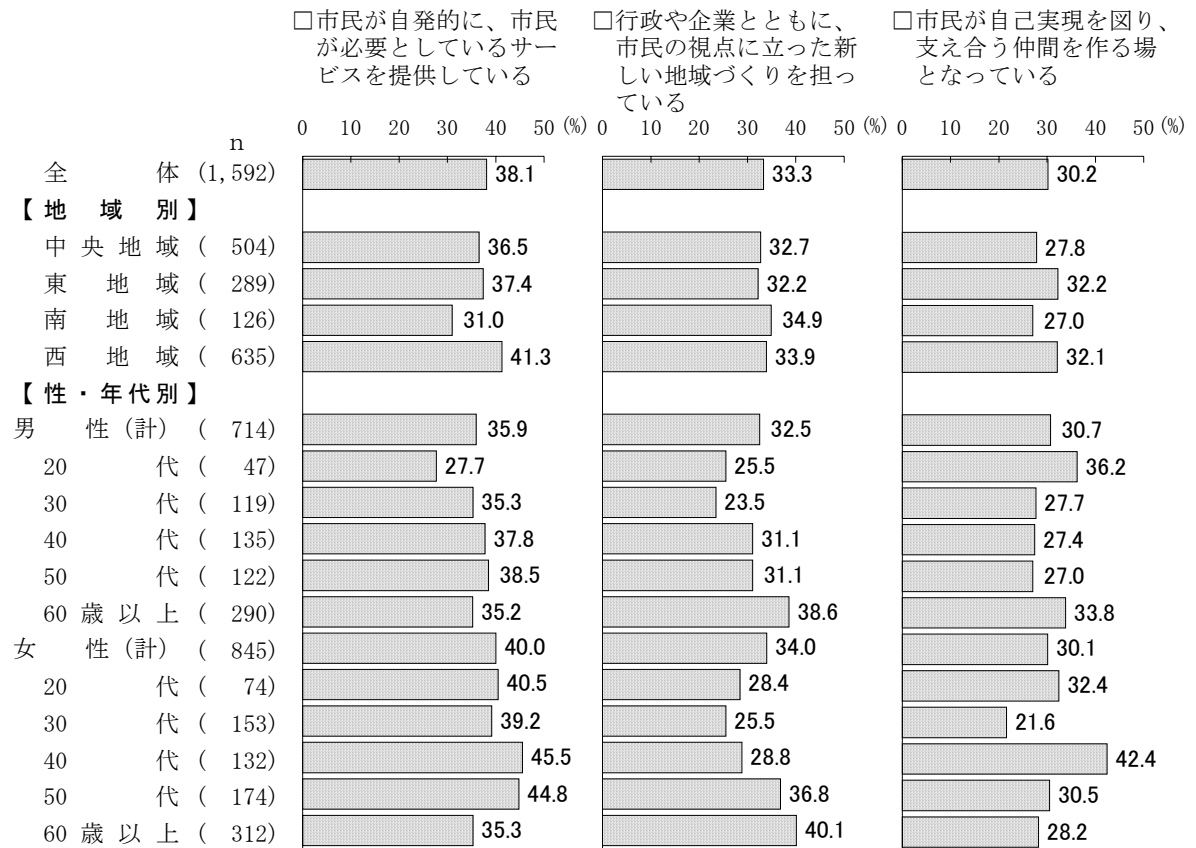
地域別でみると、「怪しげな活動をする団体もある」は“南地域”（15.1%）で1割台半ばと他の地域に比べて低くなっている。（図表8-2）

【性・年代別】

性・年代別でみると、「市民が自発的に、市民が必要としているサービスを提供している」は女性の40代（45.5%）と50代（44.8%）で4割台半ばと高い。「行政や企業とともに、市民の視点に立った新しい地域づくりを担っている」は、男女とも60歳以上（男性38.6%、女性40.1%）で約4割と最も高い。「市民が自己実現を図り、支え合う仲間を作る場となっている」は女性40代（42.4%）で4割を超えている。「怪しげな活動をする団体もある」は男性の30代（33.6%）と40代（31.9%）、女性30代（32.7%）で3割以上となっている。「自分にはあまり関係がない」は男性20代（25.5%）で2割台半ばと高くなっている。

（図表8-2）

<図表8-2>市民活動に対するイメージ／地域別、性・年代別

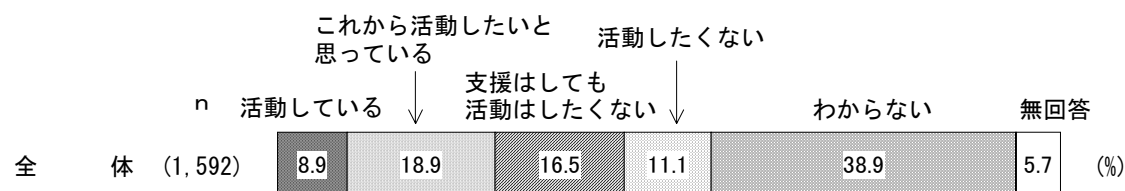


(2) 市民活動の参加状況

◇「活動している」は約1割、「これから活動したいと思っている」は約2割

問31 あなたは、市民活動をしていますか。(○は1つ)

<図表8-3>市民活動の参加状況



市民活動をしているか聞いたところ、「活動している」(8.9%)は約1割で、「これから活動したいと思っている」(18.9%)は約2割となっている。「支援はしても活動はしたくない」(16.5%)は1割台半ばで、「活動したくない」(11.1%)は1割を超えている。(図表8-3)

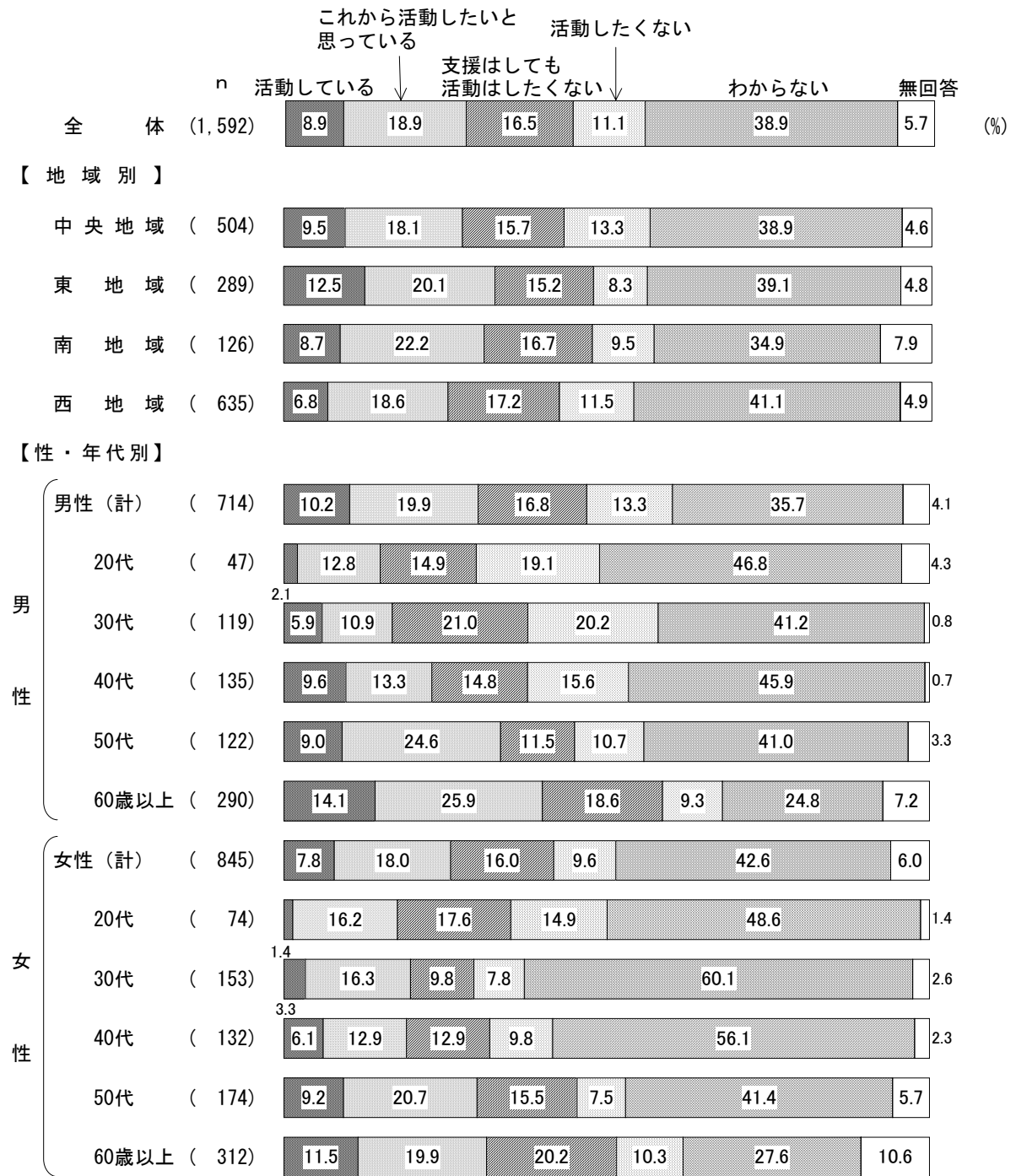
【地域別】

地域による特に大きな違いはみられない。(図表8-4)

【性・年代別】

性・年齢別で見ると、「活動している」は男女とも60歳以上(男性14.1%、女性11.5%)が1割を超え、最も高い。「これから活動したいと思っている」は男女の50代以上の年代で高く、男性の50代(24.6%)と60歳以上(25.9%)で2割台半ば、女性の50代(20.7%)と60歳以上(19.9%)で2割前後となっている。「支援はしても活動はしたくない」は、男性30代(21.0%)と女性60歳以上(20.2%)で2割を超えている。「活動したくない」は男性の20代(19.1%)と30代(20.2%)が2割前後で高い。(図表8-4)

<図表 8-4> 市民活動の参加状況／地域別、性・年代別



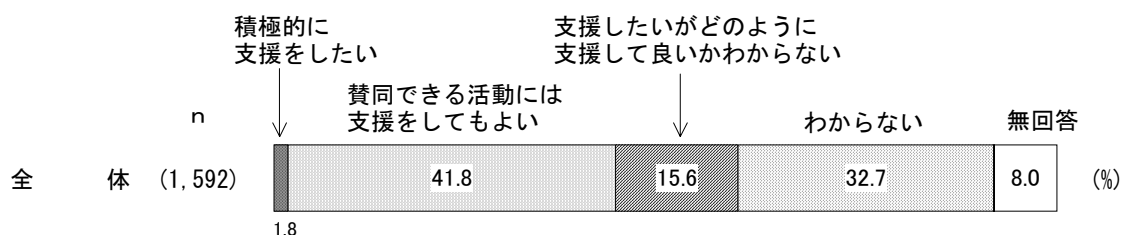
(3) 市民活動への支援意向

◇「賛同できる活動には支援をしてもよい」が4割を超える

問 32 市民活動団体が継続的に活動していく際の課題に、資源（資金、モノ、人材、場所、情報等）の不足があります。市民がこれらの資源を提供することにより、市民活動を支援し、活動を活発にする方法が考えられます。

あなたは、市民活動に対し、何らかの形で支援をしたいと思いませんか。（○は1つ）

<図表 8-5> 市民活動への支援意向



市民活動に対して何らかの形で支援をしたいと思うか聞いたところ、「積極的に支援をしたい」は1.8%にとどまるが、「賛同できる活動には支援をしてもよい」（41.8%）が4割を超えている。「支援したいがどのように支援して良いかわからない」（15.6%）は1割台半である。

（図表 8-5）

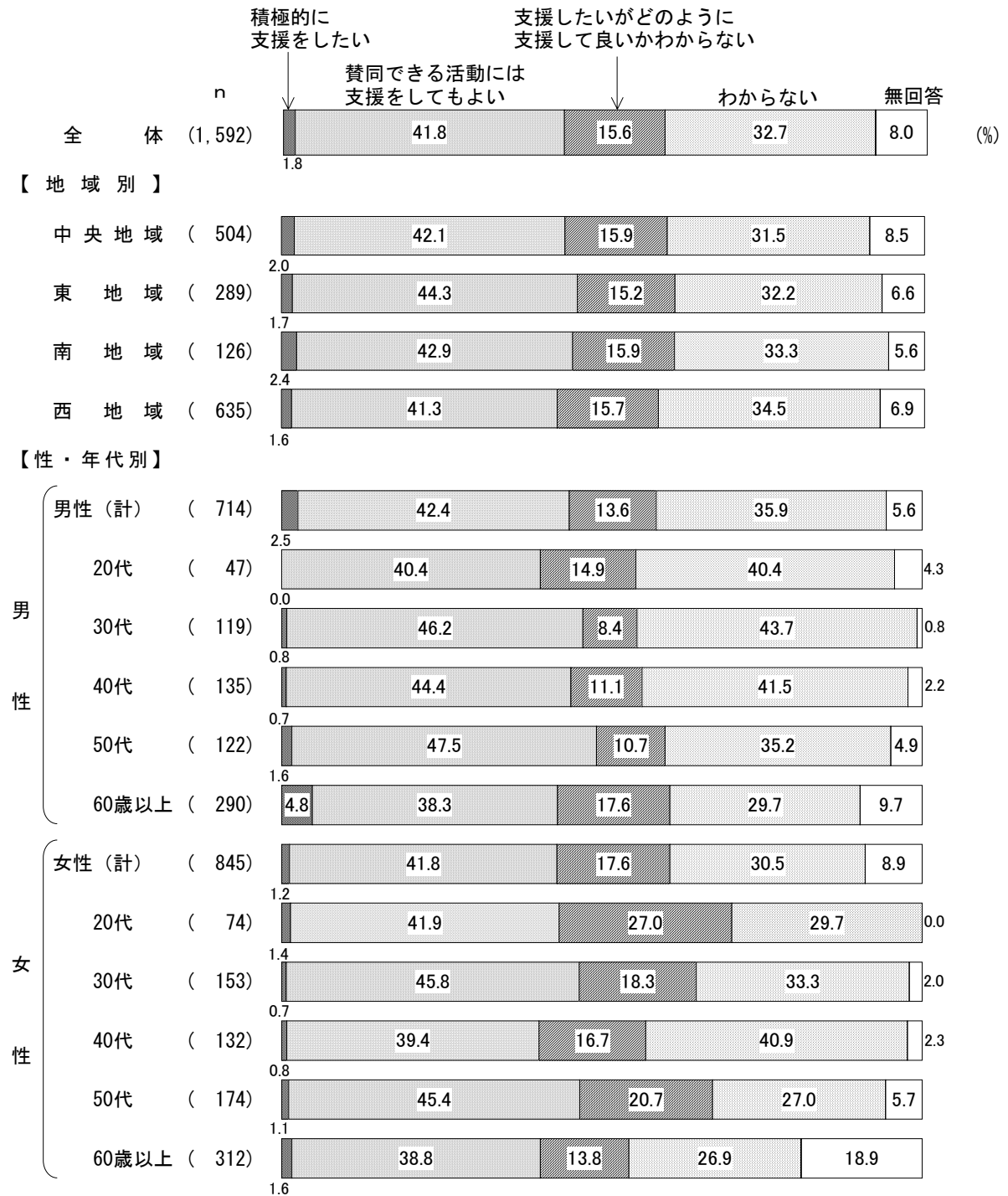
【地域別】

地域による特に大きな違いはみられない。（図表 8-6）

【性・年代別】

性・年代別でみると、「支援したいがどのように支援して良いかわからない」が女性 20代 (27.0%) で約3割と高くなっているほかは、ほぼ同じ傾向になっている。（図表 8-6）

<図表8-6>市民活動への支援意向／地域別、性・年代別



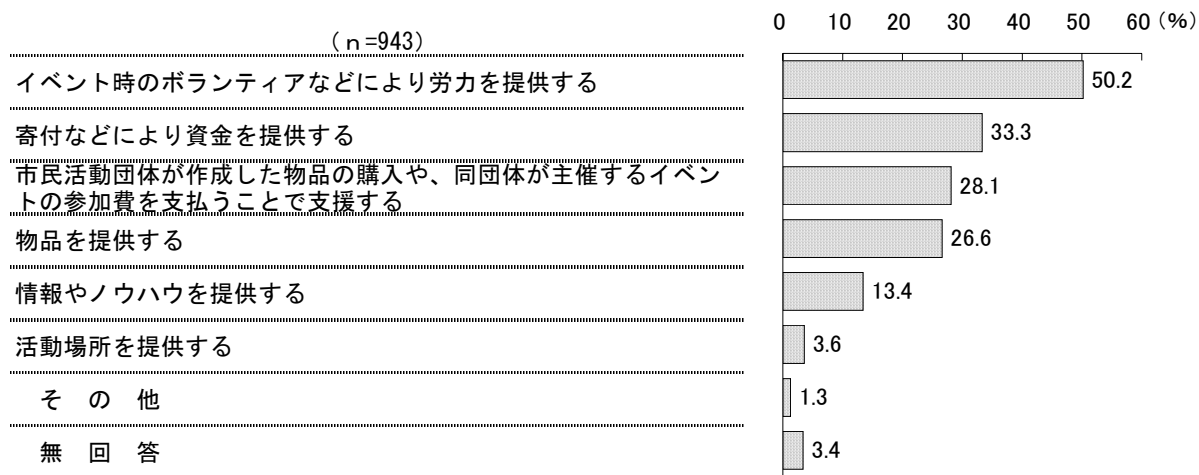
(3-1) 市民活動への支援の内容

◇「イベント時のボランティアなどにより労力を提供する」が5割

(問32で「1 積極的に支援をしたい」「賛同できる活動には支援をしてもよい」「3 支援したいがどのように支援して良いかわからない」のいずれかをお答えの方に)

問32-1 あなたは、市民活動にどのような支援をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

<図表8-7>市民活動への支援の内容



市民活動に対して「積極的に支援をしたい」、「賛同できる活動には支援をしてもよい」または「支援したいがどのように支援して良いかわからない」と答えた943人を対象に、市民活動にどのような支援をしたいと思うかをいくつでも選んでもらったところ、「イベント時のボランティアなどにより労力を提供する」(50.2%)が5割で最も高くなっている。これに「寄付などにより資金を提供する」(33.3%)、「市民活動団体が作成した物品の購入や、同団体が主催するイベントの参加費を支払うことで支援する」(28.1%)、「物品を提供する」(26.6%)が続く。

(図表8-7)

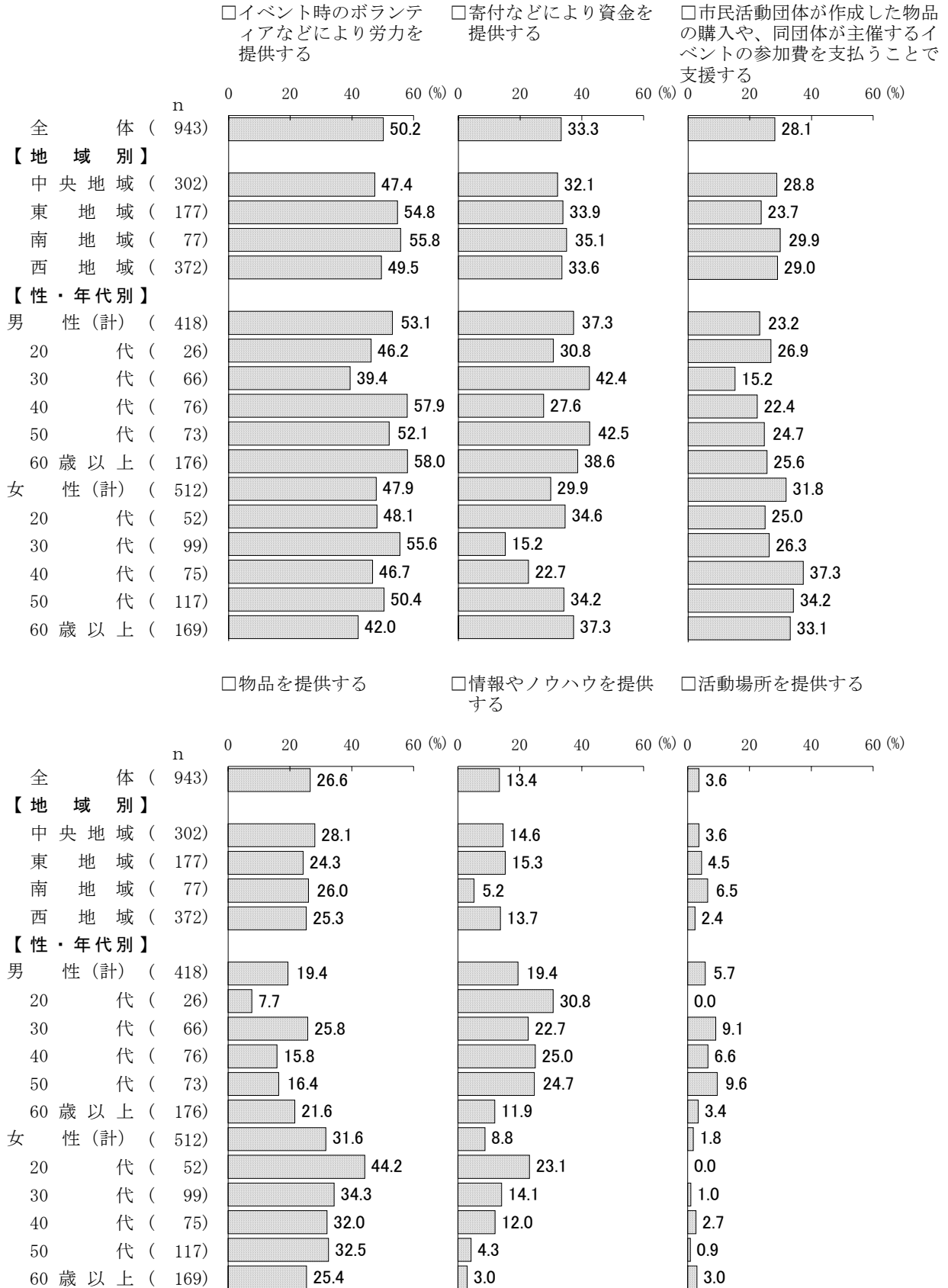
【地域別】

地域による特に大きな違いはみられない。(図表8-8)

【性・年代別】

性・年代別で見ると、「イベント時のボランティアなどにより労力を提供する」は男性の40代(57.9%)と60歳以上(58.0%)で約6割、「寄付などにより資金を提供する」は男性の30代(42.4%)と50代(42.5%)で4割を超えている。「市民活動団体が作成した物品の購入や、同団体が主催するイベントの参加費を支払うことで支援する」は女性40代(37.3%)で約4割、「物品を提供する」は女性20代(44.2%)で4割台半ばと高くなっている。「情報やノウハウを提供する」は男性20代(30.8%)で3割と高く、男性の40代(25.0%)と50代(24.7%)、女性20代(23.1%)でも2割台半ばとなっている。(図表8-8)

<図表 8-8> 市民活動への支援の内容／地域別、性・年代別

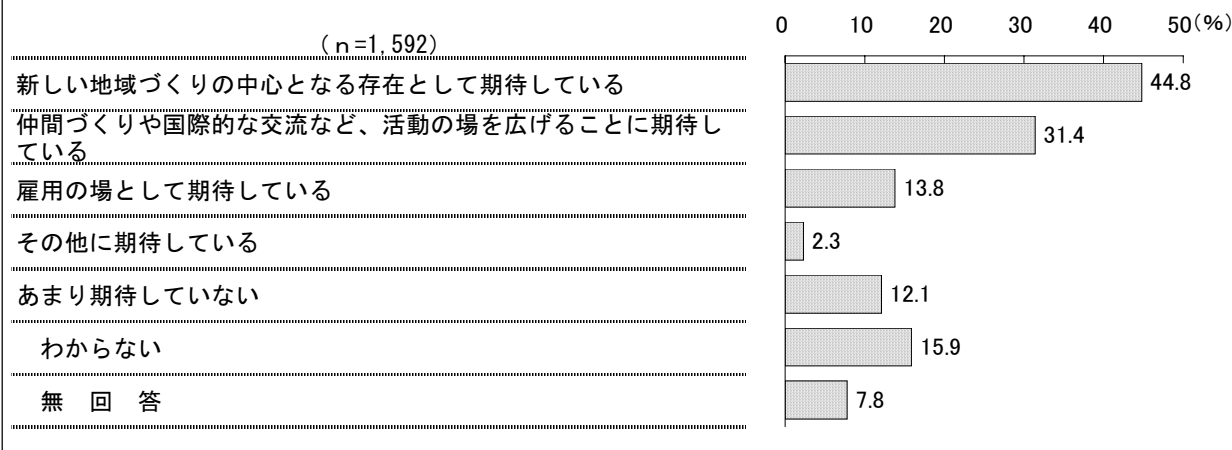


(4) 今後の市民活動に対する期待

◇「新しい地域づくりの中心となる存在として期待している」が4割台半ば

問 33 あなたは、今後の市民活動のどのような面の発展に期待していますか。(〇はいくつでも)

<図表 8-9> 今後の市民活動に対する期待



今後の市民活動について、どのような面の発展に期待しているかをいくつでも選んでもらったところ、「新しい地域づくりの中心となる存在として期待している」(44.8%)が4割台半ばで最も高くなっている。これに、「仲間づくりや国際的な交流など、活動の幅を広げることに期待している」(31.4%)、「雇用の場として期待している」(13.8%)が続く。(図表 8-9)

【地域別】

地域による特に大きな違いはみられない。(図表 8-10)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「新しい地域づくりの中心となる存在として期待している」は男性 60 歳以上(53.1%)で5割台半ば、「仲間づくりや国際的な交流など、活動の幅を広げることに期待している」は男性 50 代(39.3%)で約4割と高くなっている。「雇用の場として期待している」は男性の 20 代(21.3%)と 30 代(21.8%)で2割を超えている。「あまり期待していない」は男性 40 代(22.2%)で2割を超えている。(図表 8-10)

<図表8-10>今後の市民活動に対する期待／地域別、性・年代別

